

# 内海英男 顧問・前理事長の 本葬しめやかに

学校法人中央大学顧問(前理事長)の内海英男氏が去る8月21日、胸膜症のため逝去された。83歳だった。

内海氏は1922年(大正11)、大連市生まれ。中央大学法学部卒。67年―93年衆院議員9期。この間、建設大臣、国土庁長官を歴任した。

勲一等旭日大綬章を受章。91年(平成3)学校法人中央大学評議員会議長、93年から99年まで本学前理事長を2期勤め本学の管理運営に尽力した。99年10月から本学顧問。

内海家の本葬は、学校法人中央大学、自由民主党、地元の宮城県東松



故 内海英男 氏

島市の協力のもと9月15日、東京都青山の青山葬儀所できれやかに営まれ、400人を越える会葬者がその死を悼んだ。

## 阿部三郎・中央大学理事長

### (葬儀委員長)の弔辞(要旨)

学校法人中央大学顧問・前理事長、内海英男先生のご霊前に謹んでお別れの言葉を申し上げます。

顧みますと、内海先生は、先の太平洋戦争当時の昭和19年9月に中央大学法学部を繰上げ卒業され、その後、母校中央大学におきまして、平成2年に本学の最高決議機関であります、評議員会の選任評議員に、平成3年には評議員会議長にご就任されました。さらに、平成5年から学校法人中央大学の理事長にご就任いただき、平成11年からは本学の顧問として大学の管理・運営に携われ、優れた識見と調整能力を發揮さ

れ本学発展のため、ご尽力賜りました。また、内海先生は国政壇上においてもめざましい活躍をされ、平成四年には、そのご功績により勲一等旭日大綬章を受章されました。

本日、内海先生の国政におかれての多大なるご功績につき、天皇陛下より祭料を、またあわせて正三位の位記が贈られ、いずれもご祭壇にお供えさせていただきました。

内海先生のご逝去に伴い、マスコミ各社の宮城県版及び地元新聞社では先生をしのばれる記事が一勢に掲載されました。現在の石巻市、東松島市、そして牡鹿半島の道路事情と各地域自治体の発展ぶりを見ますと、私も同郷女川町出身の者として改めて先生のご尽力があったなればこそという思いを致しております。

先生の強い郷土愛の精神、和を大切にし、深い情愛をもって人と接しられるこの原点にあるものが、中央大学のモットーの一つである「家族的情味」に在ることは言うまでもありません。先生は理事長としてこの中央大学精神をもって全国各地より集ってくる学生一人ひとりの背景に思いを馳せられながら、大学経

営に携わってこられたのであります。

ところで近年の私立大学を取り巻く環境も、たいへん厳しいものがあります。このような中、本学は2010年に創立125周年を迎えるに当たり、「世界の中でも存在感のある大学」を実現すべく、「創立一二五周年記念プロジェクト」を発足させ、さまざまな事業展開を繰り広げております。今まさに近い将来に向けての地位を固めなければならぬ中央大学にとって、先生よりご識見豊かなご指導を頂かなければならない時、それが出来なくなりましたことは、誠に残念かつ痛恨の極みであります。

私ども中央大学に身をおく者は、この悲しみにめげず、内海先生が中央大学を愛し、母校に尽くされました情熱とご教訓を体し、ご遺志に報い、中央大学の永遠の発展のため、努力を重ねて参ることをお約束いたします。

ここに、中央大学を代表して、内海先生のご生前のご指導とご尽力に対し、心から感謝申し上げますとともに、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。お別れの言葉とさせていただきます。